

事業承継診断 集計結果

令和5年4月

小国町商工会

1 診断概況

(1) 診断目的

経営者の高齢化や後継者不足を背景に、経営を引き継ぐ「事業承継」が事業者の大きな課題となっている。

この度、経営者に対して事業承継に関する考えや抱える課題等を認識のうえ今後の取組みに活かしていただくとともに、町と商工会が連携して互いのネットワークや支援制度を活用し円滑な事業承継に結び付けることを目的として、商工会会員に対して事業承継診断を実施した。

(2) 実施機関

小国町商工会（小国町との共同調査）

(3) 診断時期

令和5年4月

(4) 診断方法

「事業承継診断シート」によるアンケートの実施

(5) 診断件数

63件

商工会員で、定款会員や団体会員、又常勤従業員数100人を超える事業者などを除く185事業者を対象として実施し、回収した件数（回収率34%）

2 主な診断結果

(1) 後継者候補の有無

後継者候補が「いる」と回答した事業者は40%（25件）、「いない」と回答した事業者は60%（38件）であった。

(2) 後継者候補が「いる」と回答した事業者（25件）

【後継者候補の内訳】

後継者候補の内訳は、「子ども・親族」が80%と大多数を占めている。次いで、会社の役員や従業員が16%で続き、「第三者」は4%であった。

【承継意思の伝達】

後継者候補に「会社を託す意思を明確に伝えた」と回答した事業者は80%、「まだ伝えていない」と回答した事業者が20%であった。

【承継の準備】

事業承継に向けて具体的準備に「着手している」と回答した事業者は64%、「着手していない」と回答した事業者が32%であった。

【具体的な準備】

「着手している」と回答した事業者の具体的な準備としては、「後継者育成活動」が32%、次いで「事業承継への課題の整理」が25%、「専門家（弁護士等）への相談」が14%、「社内外関係者への協力取付け」が10%であった。

【着手（準備）していない理由】

「着手していない」と回答した理由としては、「通常業務で手一杯」が42%、次いで「まだ時間的な余裕がある」が33%であった。

経営者の年齢が65歳以上で、後継者が存在し「まだ時間的な余裕がある」を理由として準備に着手していない事業者が75%を占めていることから、経営者の高齢化が進む中、早期着手への意識の低いことが伺える。

（3）後継者候補が「いない」と回答した事業者（38件）

【事業承継の意欲】

後継者候補はいないが、「是非事業承継したい」と回答した事業者は13%、「できれば事業承継したい」が16%、「後継者がいないので相談したい」が13%、「廃業する」が58%となった。

上記のうち、「是非事業承継したい」、「できれば事業承継したい」、「後継者がいないので相談したい」を合わせると半数近くの42%となり、こうした事業者への受け皿づくりや個別相談対応等が求められている。

また、「廃業する」と回答した事業者のうち、従業員がいない事業者が64%、従業員が1～5名の事業者36%と合わせると、廃業するとした全事業者が該当する結果であった。

【廃業する理由】

廃業理由としては、「事業に将来性がない」が36%、「需要・成長が見込めない」が27%、「その他」が32%であった。

3 集計結果

(1) 事業者情報

① 業種

業種別の構成割合は、「建設業」及び「卸・小売業」が各 27%、「サービス業」が 17%、「飲食・宿泊業」が 16%、「その他」が 10%であった。

主要業種	回 答	構成比
建設業	17	27.0%
製造業	2	3.2%
情報通信業		%
運輸業		%
卸・小売業	17	27.0%
飲食・宿泊業	10	15.9%
サービス業	11	17.4%
その他	6	9.5%
合 計	63	100.0%

② 経営形態

経営の構成割合は、「個人事業主」が 64%で多くの割合を占め、次いで「株式会社」が 17%、「有限会社」が 14%であった。

形 態	回 答	構成比
個人事業主	40	63.5%
有限会社	9	14.3%
株式会社	11	17.4%
その他	3	4.8%
無回答	0	0.0%
合 計	63	100.0%

③ 従業員数

従業員数別の構成割合は、「1人～5人」が 46%と約半数を占め、次いで「0人」が 32%で、「5人以下」で約 8割となった。

	回 答	構成比
0人	20	31.7%
1～5人	29	46.0%
6人～10人	6	9.5%
11人～20人	4	6.4%
21人～50人	2	3.2%
51人～100人	2	3.2%
無回答	0	0.0%
合 計	63	100.0%

④ 代表者の年齢

代表者の年齢構成は、「65歳～70歳」が 25%、次いで「50歳～59歳」及び「70歳～74歳」が 21%、「75歳以上」が 18%となり、「65歳以上」で 64%を占めた。

代表者の年齢	回 答	構成比
50歳未満	3	4.8%
50歳～59歳	13	20.6%
60歳～64歳	7	11.1%
65歳～70歳	16	25.4%
70歳～74歳	13	20.6%
75歳以上	11	17.5%
無回答	0	0.0%
合 計	63	100.0%

(2) 診断結果 (詳細)

【設問 1】後継者候補はいますか？

[回答]

後継者候補が「いる」と回答した事業者が40%、後継者候補は「いない」と回答した事業者60%と後継者候補の不在事業者の割合が高かった。

	回 答	構成比
はい	25	39.7%
いいえ	38	60.3%
無回答	0	0.0%
合 計	63	100.0%

【設問 2】設問 1で「後継者候補がいる」と回答された方に伺います。

それは誰ですか？

[回答]

後継者候補が「いる」と回答した企業に対し、それは誰かを尋ねたところ、「親族」と回答した事業者が80%と大多数を占めている。

次いで「役員・従業員」が16%で、「第三者」は4%であった。

	回 答	構成比
子ども・親族	20	80.0%
役員・従業員	4	16.0%
第三者	1	4.0%
その他	0	0.40
無回答	0	0.0%
合 計	25	100.0%

【設問 3】設問 1で「後継者候補がいる」と回答された方に伺います。後継候補者に会社を託す意思があることを明確に伝えていきますか？

[回答]

後継者候補に「会社を託す意思を明確に伝えた」と回答した事業者は80%で、高い割合となった。

	回 答	構成比
はい	20	80.0%
いいえ	5	20.0%
無回答	0	0.0%
合 計	25	100.0%

【設問 4】設問 1で「後継者候補がいる」と回答された方に伺います。

事業承継に向けて具体的準備に着手していますか？

[回答]

事業承継に向けて具体的準備に「着手している」と回答した事業者は64%、「着手していない」と回答した事業者が32%となり、準備に着手している割合が高かった。

	回 答	構成比
はい	16	64.0%
いいえ	8	32.0%
無回答	1	4.0%
合 計	25	100.0%

【設問5】設問4で「事業承継の準備に着手している」と回答された方に伺います。事業承継の準備に取り組むきっかけは何でしたか？（複数回答可）

[回答]

「親族との話し合い」と回答した事業者が61%と最も多く、次いで「その他」が22%、「税理士からのアドバイス」が11%であった。

	回 答	構成比
親族との話し合い	11	61.1%
商工会・商工会議所の情報提供	1	5.6%
税理士からのアドバイス	2	11.1%
金融機関からのアドバイス	0	0.0%
外部セミナーや新聞・情報誌	0	0.0%
その他	4	22.2%
無回答	0	0.8%
合 計	18	100.0%

【設問6】設問4で「事業承継の準備に着手している」と回答された方に伺います。どのような準備をしていますか？（複数回答可）

[回答]

「後継者の育成活動」と回答した事業者が32%、「事業承継への課題の整理」が25%と、この2つで6割近くを占めている。

次いで、「専門家（弁護士等）相談」が14%、「社内外関係者への協力取付」が11%であった。

	回 答	構成比
事業承継への課題整理	7	25.0%
事業承継計画の策定	1	3.6%
後継者の育成活動	9	32.1%
経営改善活動	2	7.1%
社内外関係者への協力取付	3	10.7%
専門家（弁護士等）相談	4	14.3%
その他	1	3.6%
無回答	1	3.6%
合 計	28	100.0%

【設問7】設問4で「事業承継の準備に着手している」と回答された方に伺います。事業承継の準備期間をどれくらい見込んでいますか？

[回答]

準備期間として「3～5年」が63%、次いで「1年未満」が13%、「1～2年」も13%で「5年以下」と見込んでいる割合が約9割を占めた。

	回 答	構成比
1年未満	2	12.5%
1～2年	2	12.5%
3～5年	10	62.5%
6～10年	0	0.0%
10年超	1	6.25%
無回答	1	6.25%
合 計	16	100.0%

【設問 8】 設問 4 で「事業承継の準備に着手していない」と回答された方に伺います。 事業承継の準備に着手していない理由は何ですか？

[回答]

「通常業務で手一杯」が 42%、「まだ時間的な余裕がある」が 33%で、両方を合わせると 75%となった。

(参考)

まだ時間的な余裕がある	4
代表者年齢 65 歳以上	3
代表者年齢 65 歳未満	1

※65 歳以上で、後継者が存在し、「時間的な余裕がある」を理由としている事業者は 75%であった。

	回 答	構成比
候補者から了解得られない	2	16.7%
準備の進め方わからない	1	8.3%
相談できる人がいない	0	0.0%
通常業務で手一杯	5	41.7%
まだ時間的に余裕がある	4	33.3%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	12	100.0%

【設問 9】 設問 1 で「後継者候補がない」と回答された方に伺います。 事業承継を希望しますか？

[回答]

後継者候補はないが「是非事業承継したい」と回答した事業者は 13%、「できれば事業承継したい」が 16%、「相談したい」13%を合わせると 42%となった。

なお、「廃業する」とした事業者の割合が 58%で過半を占めた。

	回 答	構成比
是非事業承継したい	5	13.15%
できれば事業承継したい	6	15.8%
相談したい	5	13.15%
廃業する	22	57.9%
無回答	0	0.0%
合 計	38	100.0%

【設問 10】 設問 9 で「是非事業承継したい」、「できれば事業承継したい」と回答された方に伺います。 どのような事業承継を希望しますか？

[回答]

承継方法として「親族内承継」及び「第三者への事業・株式譲渡」が各 27% 「役員・従業員への承継」が 18%であった。

	回 答	構成比
親族内承継	3	27.3%
役員・従業員への承継	2	18.1%
第三者への事業・株式譲渡	3	27.3%
外部から経営者招聘	0	0.0%
その他	3	27.3%
無回答	0	0.0%
合 計	11	100.0%

【設問 11】 設問 9 で「廃業する」を回答された方に伺います。

廃業を考えている理由として最も近いものをひとつ選んでください。

[回答]

「事業に将来性がない」が 36%、「需要・成長が見込めない」が 27%と合わせて 63%、「その他」が 32%であった。

なお、廃業するとした事業者の内、従業員数 0 人の事業者は 6 割を超えた。

廃業する	22
従業員数 0	14
従業員数 1～5名	8

	回 答	構成比
事業に将来性がない	8	36.4%
需要・成長見込めない	6	27.3%
従業員の確保困難	1	4.5%
借入金・個人保証がある	0	0.0%
その他	7	31.8%
無回答	0	0.0%
合 計	22	100.0%

(参考)

【設問 12】 設問 9 で「後継者候補がいないため相談したい」と回答された方に伺います。事業承継についてだれに相談したいですか？

[回答]

「親族」と回答した事業者が半数の 50%、「金融機関」、「税理士等」、「その他」が各 17%であった。

	回 答	構成比
親 族	3	50.0%
商工会	0	0.0%
金融機関	1	16. ⁶⁶ %
税理士等専門家	1	16. ⁶⁶ %
その他	1	16. ⁶⁶ %
無回答	0	0.6%
合 計	6	100.0%

以上